



発行所  
飯田市竜丘公民館  
編集人  
竜丘公民館広報委員会  
印刷所  
龍共印刷株式会社  
飯田市上郷黒田 22-5353

人口 6,808人  
男子 3,365人  
女子 3,443人  
世帯数 2,012戸  
(9年2月末現在)

# 公民館建設いよいよ具体化

## 建設委員会が候補地決定

### 特集



候補地の桐林 “前ノ原”

平成五年度に建設委員会が発足し取り組んできた新公民館建設も、様々な問題を解決しながら、実現に向けていよいよ具体的な方向に大きく前進した。

建設委員長 岩崎 傳

現在の竜丘公民館は、昭和五〇年度に建設され、二〇年余が経過しています。この間に竜丘地区では、人口で三八%、世帯数で六九%も増加するなど、都市化の進展に伴い、新旧住民の混住も加速度的に進んでいます。また同時に国際化、高齢化、情報化社会を迎え、現在の公民館では手狭であり、施設設備も十分のため、時代に即応した公民館建設が求められていました。こうした状況のもと、早期に新しい公民館を建設するため平成五年度に竜丘公民館建設委員会を自治会・公民館が主体となり各種団体にも呼び掛け発足しました。この間、平成六年に各常会単位にアンケートをとるなど、住民要望を基盤とした取り組みに心掛けてきました。

建設委員会の中には、総務、土地対策、施設、財務の四つの部会を設けています。平成八年度は、土地対策と施設部会が先行する形で、新しい公民館の骨格をつくってまいりました。一月二七日に開催した建設委員会では、建設予定場所を桐林前ノ原地籍にすることを、施設の概要について了承されました。三月六日には、前ノ原地籍建設予定地の地権者の皆様に集まっていただき建設の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきたい旨をお願いしたところです。公民館を建設するにあたり、飯田市であり教育委員会といたすこととなります。実際の建設予定は平成十一年度(十二年度)といった状況です。市がつくるものといった冷めた意識では、良い公



民館はできません。地区住民の建設に向かっている熱意が、よりよい公民館建設に不可欠です。今後の大きな課題としては、新公民館建設予定地の地権者の皆様のご理解とご協力を引き続き得ていくこと、新しい公民館建設に向けて、利用者を幅広く地区住民の要望を柔軟に受け止めていくこと、現在の公民館のある場所の跡地を公共施設としてどのように存続させていくか、があげられます。

二十一世紀が目前に迫っています。生涯学習の拠点として、地域の誇りとなる公民館を共に築いて行くことではありませんか。

### 実現に向けて地権者のご理解が不可欠

土地対策部会長 塚平 清俊



懸案であった竜丘公民館の建設計画も飯田市三ヶ年実施計画に明記されましたのでいよいよ実現に向けて急がなければなりません。まず建設場所はどこにするか、どれだけの面積を求めるとして部会で検討いたしました。場所については竜丘地区民の大多数が希望する小学校附近と集約されており、またこれに沿って進めま

した。この地帯は農地であるから農地法等の許可の見直し、地上物件や、道路状況、特に教育委員会から同意が得られる場所であるかどうかを整理し、部会は小学校東側である前ノ原地籍に約六千平方メートルを最適な候補地といたしました。このことについて一月二七日に開催された全体の建設委員会に諮り建設場所と面積を竜丘の要望として

### 将来的展望に立ち竜丘らしい公民館を

施設部長 河井 辰雄



建設委員会、松本市南部公民館を視察

待望の竜丘新公民館 建設に向けて大きく前進

平成五年度から五年を経過、最も重要な地区民の意志統一に多少の時間を必要としたものの、平成九年三月六日、新公民館建設の要請書が自治会長に提出された。地区民へアンケートを行

い、新しい時代を目指す、生涯学習の拠点となる施設の整備、充実が求められている中で、特に公民館は地区民の身近な学習、交流、ふれあいの場としてまた、健康、福祉を育てる場としても最も重要な施設です。

竜丘公民館建設委員会の施設部会は、こうした施設の実現のために、どんな公民館を建てるかという建物全体と屋外の駐車場や広場

その他外構面までを含め検討するという部会です。現在、地区民のアンケート結果や先進的施設の視察、公民館関係団体や公民館利用者の方々の意見、ご要望等を聞きながら検討しているところです。これからその内容を簡単に報告いたします。まず、新しい公民館を考

①古墳やギフチョウ、竜丘学校の歴史的な自由教育の資料、文化財など竜丘の特色、竜丘らしさを生かした施設、②現在のグループやサークル活動等の育成、援助のほか、新たに製作等創作活動もできる設備を備えた施設、③図書館機能を拡充し、世代交流の場を含めて公民館、図書館、市役所支所の有機的複合施設とする、④特に身体不自由者や老人、子ども等を始め、誰もが安心して快適に利用できる施設、⑤人口増加地区として市の南部方面のセンター的な役割を備えた施設、⑥ロビー、談話、喫茶コーナー等を設け、気軽に立ち寄れる明るく、温かな雰囲気をもった施設等広い角度から検討しています。どうぞご意見、ご要望等を公民館へお気軽にお寄せください。

集約の結果、学校周辺を建設予定地として決定した。公民館報等で報告しているの

建設期限の関連、予想される施設設備等の関係から学校周辺予定地を更にしぼり込んで、「前ノ原」地籍を提案、委員総会全員一致と市教委の賛同のもと決定に至りました。施設部会は「二十一世紀に向け多様化する市民の要望にこたえ得る竜丘にふさわしい公民館をみんなで考え、みんなでつくること」を基本方針として、アンケート結果を重視する一方、公民館利用者会の開催、松本南部公民館、東春近公民館の見学など、多くの意見、研修をもとに、度重なり部会を開催して、竜丘の特色、竜丘らしさを生かした「新竜丘公民館の検討資料」を作成して、今後の研究の叩き台として提案しています。

市教委は平成十一年建設着手の方針のもと当面の予算を計上していますが、竜丘地区にとっては九、十の二ヶ年こそ重要な時期で、早期に地権者のご理解、ご協力を願うと共に更なる地区民の要望と、財務部会を中心とした負担金の対応などの要請は申すまでもありません。最後に改めて地権者の方々のご協力と地区民の一層のご支援をお願いいたします。

決まりました。候補地が決まりましたことにより委員会は関係地主の皆さんにお集り願ひ経過等のご報告と今後のご協力を願ひしました。

土地等は市が買収します。細かい計画はこれから面積などの具体的なことはまだ先になりますが第一の土地所有者の方々のご理解とご協力をお願いし経過報告とします。

確かに地域活動というのはポランテアなので、できる人、やりたい人がやれば良いといえはそれまでです。このところこの地域に住んでいるのに地域活動に無関心な人達が増えてきていると思われの方も多々あります。いろいろ忙がしい時間を割いて活動している人たちがその分を背負うというのも不公平です。権利を主張されるのももっともですが、義務についてももう少し考えるべきではないでしょうか。これからの地域活動の火を消さないように

いよいよ平成八年度が終わり、九年度を迎えます。この竜丘地区内には様々な公民館の委員会や、自治会組織、各種団体が活動していますが、それぞれ役割の改選や、会員、団員などの補充などが重なり、それぞれの立場の中で苦勞されている方、された方がいらっしゃるのではないかと思います。

まったくの趣味の団体は別として、公民館や、地域の組織というのはポランテアの要素が大きいものです。誰か誰かが役をやらなければ成り立たない組織なものにもかかわらず、役員の改選や、人の補充などに難航するケースが多いのではないのでしょうか。

特に年齢の若い所にそういったケースが多いという事を聞きます。

よく耳にする事では、地域の事だからぜひ協力したいと入会などをお願いに行っても、本人がいるにもかかわらず出でてきて「うちの子供は仕事で忙がしくてそれどころではない」となどという断わりを受けるという事です。

# 地域で気持ちよく暮らしていくために

## — 市民大学講座開講 —

第十八回竜丘地区市民大学講座が二月から三月にかけて全四講座開かれました。「地域で気持ちよく暮らしていくために」を主題に、それぞれ違う角度から今日的課題といわれるテーマを学習しました。

第一講は、二月四日に健康学習として「ボケは防げる・治せる」と題し、エイジングライフ研究所の林弘子先生をお招きして開講しました。この課題は飯田市保健厚生課が推進している事業の一環であり、竜丘地区の保健補導員さんを中心となつて、当日の運営が行なわれました。老人学園や大人の学校など後援団体の



知りあって触れあって国際交流

第二講は、二月十一日にJA竜丘支所会議室で、アニメ映画「マヤの一生」上映会を開催しました。上映の前に田中館長による「椋鳩十先生について」の解説が行なわれ、喬木村出身の日本を代表する児童文学者について認識を新たにしました。当日は、一五三号飯田バイパスの開通式が行なわれるなど行事が多い日であり、参加者が少ないのではと危惧していましたが、小学校PTAの参加の呼び掛けにより、子どもが多く参加し総数一三〇名を数えました。内容は、太平洋戦争勃発から終戦までの一家と犬が主人公の物語りで、その悲劇的で感動的なドラマは、多くの参加者の涙を誘い、戦争の残酷さと思かさを教えてくれる貴重な題材でした。

第三講は、三月二日に桐林区民センターを会場に、「福祉の街づくり」をテーマに飯田風越高校ボランティアクラブのメンバーをお招きし意見交換会を中心に行ないました。澤柳社協会長などから参加者の紹介があり、和やかな雰囲気が進みました。中国帰国者から帰国するまでの苦労話など、この地に暮らし馴染むこ

### 青年の主張

私の二十歳の抱負は、一日一日を大切に、後悔しないようにしたいということです。もう、社会では大人ということなんですが、どうも、私にはまだ無責任なところがたくさんあります。そんな所も直したい所です。例えば、会社でやっている通信教育をきちんと毎日やって、達成できるようにしたいです。私は、一年目も二年目も、始めのうちは、きちんとやっているのに、一つ壁にぶつかると、すぐにや

### 自分の生き方が好きになれるように

田中 亜里沙



めてしまいました。今年こそは達成したいと思つて、そして、今、私がやりたい事は、心の休まる様な一人旅をする事です。何でも一人でやらないと自分の思い通りの旅はできないから、年を気にせず、仲間といっしょに行きたいと思つて、誘いに行くと、断わる人もいますが、私は青年会は、いい所だと思つています。会社では、年が上だと、先輩になつてしまつて、先輩になつてしまつて、仲間といっしょに行きたいと思つています。誘いに行くと、断わる人もいますが、私は青年会は、いい所だと思つています。会社では、年が上だと、先輩になつてしまつて、先輩になつてしまつて、仲間といっしょに行きたいと思つています。

### はりきっています

## 大人の学校

「大人の学校」をご存じですか。現在、会員六十人、平均年齢六十八歳の皆さんが公民館に集まっています。体育委員から「赤い玉」が不足しているとの話を聞き、早速取りかかっています。この「大人の学校」は健康で楽しくそして社会の役に立つことを目的に、平成七年七月に結成されました。入校資格は、六十歳以上であることだけです。校長は公民館長で、学校の特徴は「入学はあるが卒業がない」ことです。そして「年長者ではなく、年少者が会を運営しています。また、歌を歌ったり、お茶を飲んで楽しいひとときを過ごしています。



3月行なった椎茸づくり

## 今年で二年目!!

### 新年会開催

去る二月一日に公民館新年会が開催されました。過ぎ去る新春放談会を行なっていました。昨年からの新年会に変わって二年目となりました。今年も第一部で「ニューイヤークンサート」、第二部で懇親会を兼ねた公民館建設についての懇談会がありました。

その他「トップキャッツ」の皆さんによるアメリカンカントリーや、「ゆうがお」の皆さんによるフォークソングの演奏があり最後は会場の全員で「ハレルヤ」を合奏して楽しい一時を過ごして第一部を終了しました。

第二部では公民館建設委員会より、現在進められている新公民館の建設に向けて、基本方針や各部門の進捗状況の説明がありました。質疑の中で参加者からは「財政面



郷愁をそそる胡弓の演奏

田中公民館長の挨拶で始まり、まずはすっかり有名になった駄科の「鈴岡太鼓」の勇壮な太鼓の響きで開幕です。華麗なバチさばきで創作曲「天空」などを披露長野五輪に向けての意気込みと力強さを感じました。次に昨年の三名から今年十七名と、会員も増え盛り上がりがある「駄科ハーモニカクラブ」の皆さんが、月に最低一回は練習する成果を披露しました。曲は童謡、演歌、なつメロなどを演奏し、どこか懐かしさを



駄科ハーモニカクラブの熱演